鹿市医郷壇

473　樋口　一風　選

兼題「弱虫（やっせんぼ）」

天

清滝支部　**鮫島爺児医**

弱虫母親ん背中で議を吐えっ

（唱）ママあ強えどち威張って悪口
　喧嘩に負けてママの後ろに逃げ込みました。手八丁口八丁の母親が守ってくれますので、もういじめられる心配はありません。片手はママのスカートを握りながら、僕のママは強いのだぞと、相手を威嚇しています。どんな腕白坊主が来ても、こんな頼もしい母が後ろ盾にいるから大丈夫です。
　アメリカの核の傘の中に居る日本のようなものでしょうか。よく目にする弱虫を巧みに詠んでであります。今月は若い方々に佳吟が沢山ありました。

地

ここ言とき気持っで負くい弱虫　　**醤油屋孫一**

（唱）考げた丈で逃ぐかい思もっ
　アスリートたちは、これだけ練習をしたので絶対に負けるわけはないと、自分に言い聞かせて勝負に挑むそうです。でないと相手と戦うのが怖くなります。この場から逃げ出したい気持ちにもなるでしょう。臆病神に取り憑かれては勝ち目はありません。典型的な心配性の弱虫の描写です。
　勝てば優勝という一番に、弱気な相撲を取って優勝を逃した相撲取りがいました。あの相撲取りが何を考えていたか分かりませんが、気持ちで負けていたのでしょう。
　薩摩郷句の要素の一つである真実味の句です。素直に詠んで流れも良く、すっきりとした句になりました。

人

ダイエット三日も持てん弱虫　　**霧島　木林**

（唱）堪え性が無で空っ腹れ負けっ
　今まで三食を腹一杯食べて三時のおやつも充分食べていた身には、食事制限は死にそうな気がしました。痩せなければと決心したのに、三日目は腹が減って、どうしても我慢できません。
　われながら根性が無いと痛感します。食いしん坊には三日が限度だったのでしょう。やはり私は弱虫でした。
　郷句の数字は、一日、三日、五日、一月、一年などと、句の内容に合った適切な数字を入れないと失敗します。この句の場合は「三日」で決まりです。

五客一席　**印南　本作**

好っじゃっち素面じゃ言えん弱虫

（唱）焼酎を飲まんなばったい行かじ

五客二席　紫南支部　**二軒茶屋電停**

強え女房けな何でんイエス弱虫

（唱）否にゃ言たぎい飯も恵らじ

五客三席　伊敷支部　**谷山五郎猫**

海外いも女房ん後て付っ弱虫

（唱）女性上位ち他国ん衆な言っ

五客四席　上町支部　**吉野なでしこ**

弱虫蛙を避けっ回い道

（唱）子供からずい凄ぜ揶揄られっ

五客五席　清滝支部　**鮫島爺児医**

二日酔が飲まん言ながらまた飲ん屋

（唱）やっせんもんじゃ言て女房が叱っ

秀　逸

清滝支部　**鮫島爺児医**

弱虫注射ち言たや泣て逃げっ
好っ な娘げ好っち言きらん弱虫
弱虫災害の時きや上手じ逃げっ
一匹の蜚蠊め大騒動ん弱虫
弱虫粗大塵みなっ逃げ回っ
虫しゃ怖ぜち農業から逃ぐい弱虫

上町支部　**吉野なでしこ**

弱虫注射ん前い泣っかぶっ
弱虫試合前から凄ぜびびっ

伊敷支部　**谷山五郎猫**

弱虫小け蜘蛛ずい泣っでけっ
宅ん猫直き隠るっ弱虫

霧島　木林

見た丈でそんた出来んち弱虫
NOじゃっち他人い言わすっ弱虫

街ち育っ虫も触れん弱虫
弱虫早よ強よなれち親ん願げ

醤油屋孫一

強えぶっが注射いびびっ弱虫
弱虫勇気が出らじ告白もならじ

一　風

作句道場

「弱虫」という題で、どんな句が出るかと、楽しみにしていました。流石に医郷壇です、注射の句が多いようでした。昔から、薩摩の男の子は弱虫と言われるのが最大の屈辱でした。私も、あんな小さな注射針が注される瞬間は目を瞑りますので弱虫でしょう。
　五席の「**二日酔が飲まん言ながらまた飲ん屋**」
　この句は、弱虫は付いていませんが弱虫を表現しています。広辞苑に「弱虫はいくじのない者をののしっていう語」とあります。
　この句は自分を意気地がないと卑下しています。このように兼題を詠み込まないのはかなり高等な手法ですが、上手に纏めてあります。

印南　本作

　但し絶対に弱虫を詠まないといけません。解釈に依っては別の意味に取られる可能性もあります。注意して作句しましょう。
　また、兼題の時は、兼題を「下五」に持ってくると句が締り、句の座りが良いようです。勉強してみて下さい。

薩摩郷句募集

◎6号
題　吟　「催促っ（せず）っ」
締　切　令和元年5月7日㈫

◎7号
題　吟　「沢山（ずんばい）」
締　切　令和元年6月5日㈬

◇選　者　樋口　一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあてててください。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九―二二六―三七三七
FAX　〇九九―二二五―六〇九九
E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp